

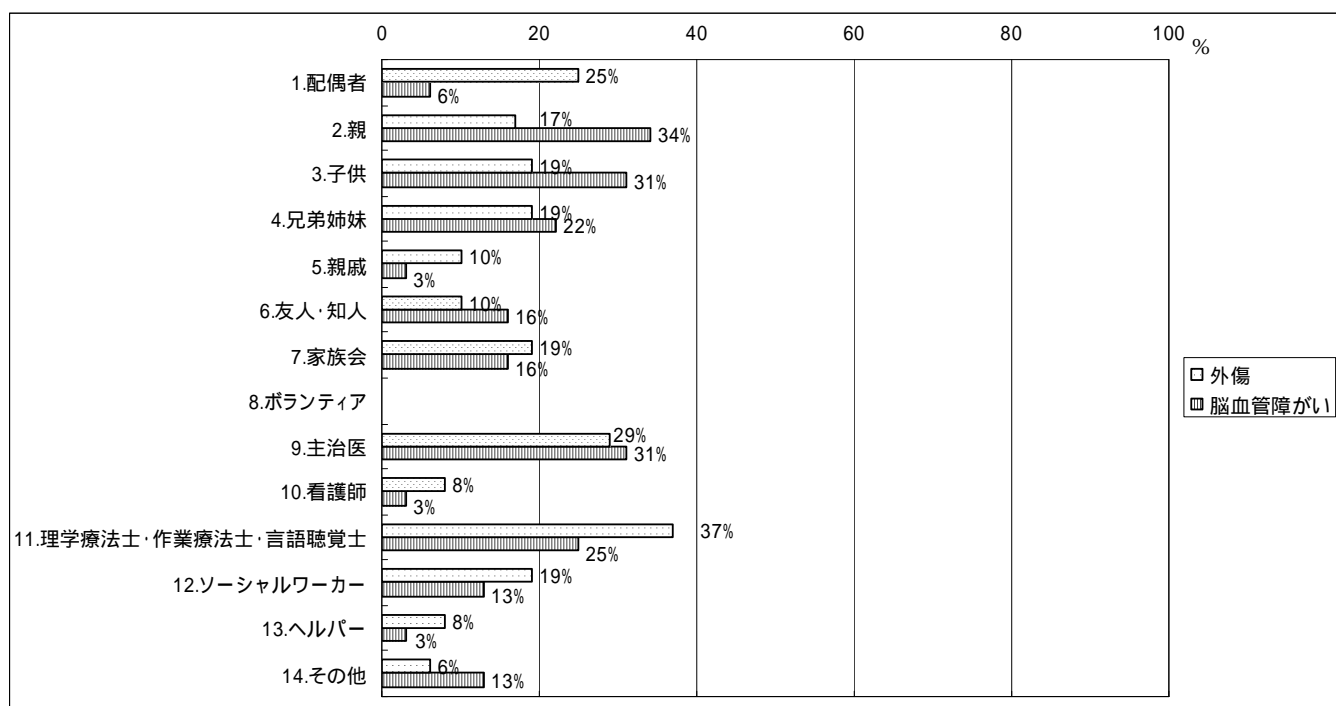
問7 相談について

問7-1-1 今一番、相談できる人はどなたですか。(複数回答)

「配偶者」、「親」、「子供」、「兄弟姉妹」と家族への相談が76人を占める。しかし、「主治医」、「看護師」、「理学療法士・作業療法士・言語聴覚士」、「ソーシャルワーカー」への相談も72名と医療従事者への相談も多い。

	1.配偶者	2.親	3.子供	4.兄弟姉妹	5.親戚	6.友人・知人	7.家族会	8.ボランティア
外傷	13	9	10	10	5	5	10	0
脳血管障がい	2	11	10	7	1	5	5	0
低酸素脳症	1	2	0	1	0	0	1	0
合計	16	22	20	18	6	10	16	0

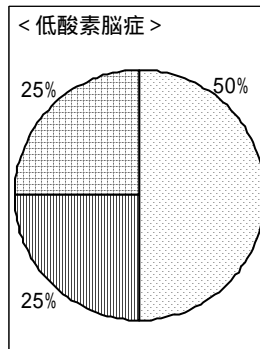
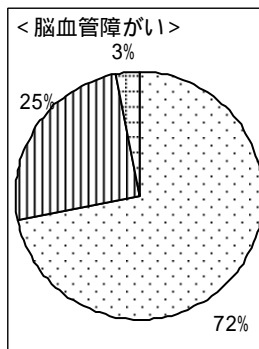
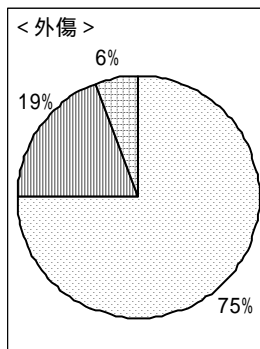
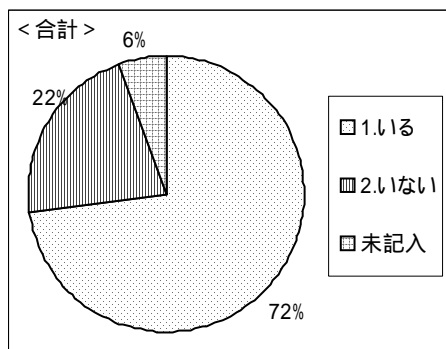
	9.主治医	10.看護師	11.理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	12.ソーシャルワーカー	13.ヘルパー	14.その他	合計
外傷	15	4	19	10	4	3	117
脳血管障がい	10	1	8	4	1	4	70
低酸素脳症	0	0	1	0	1	0	7
合計	25	5	28	14	6	7	194



問7-1-2 その方々の内、月に1回以上、会う方はいらっしゃいますか。

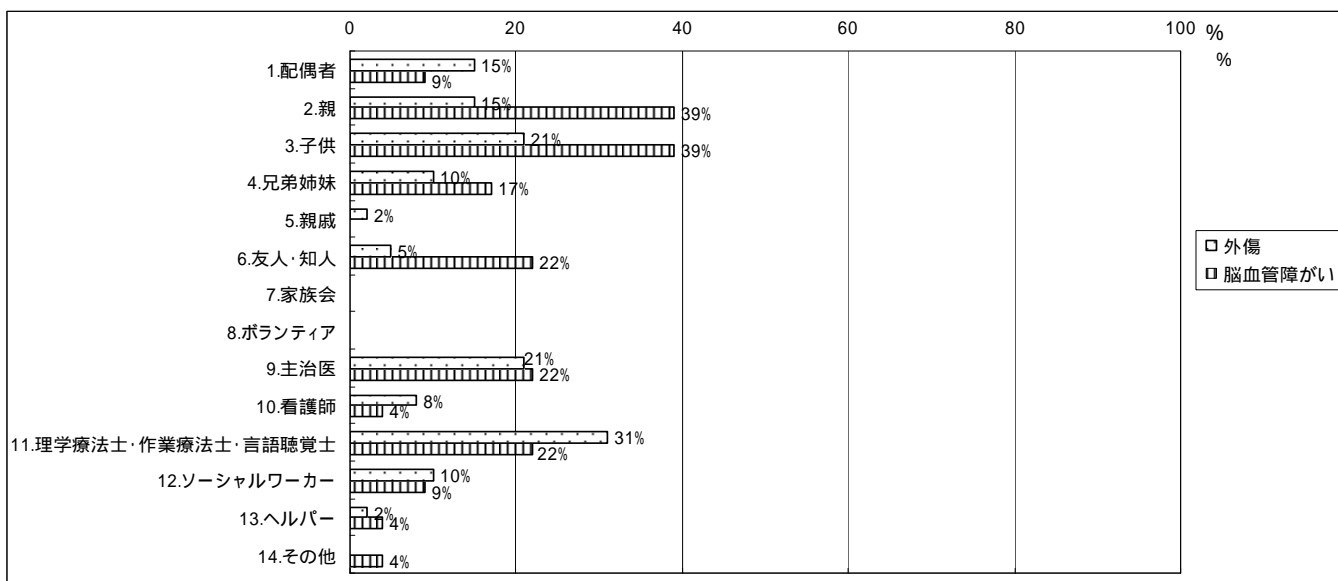
全体で19人(22%)が月に1回、相談できる人に会えていない。

	1.いる	2.いない	未記入	合計
外傷	39	10	3	52
脳血管障がい	23	8	1	32
低酸素脳症	2	1	1	4
合計	64	19	5	88



	1.配偶者	2.親	3.子供	4.兄弟姉妹	5.親戚	6.友人・知人	7.家族会	8.ボランティア
外傷	6	6	8	4	1	2	0	0
脳血管障がい	2	9	9	4	0	5	0	0
低酸素脳症	0	1	0	0	0	0	0	0
合計	8	16	17	8	1	7	0	0

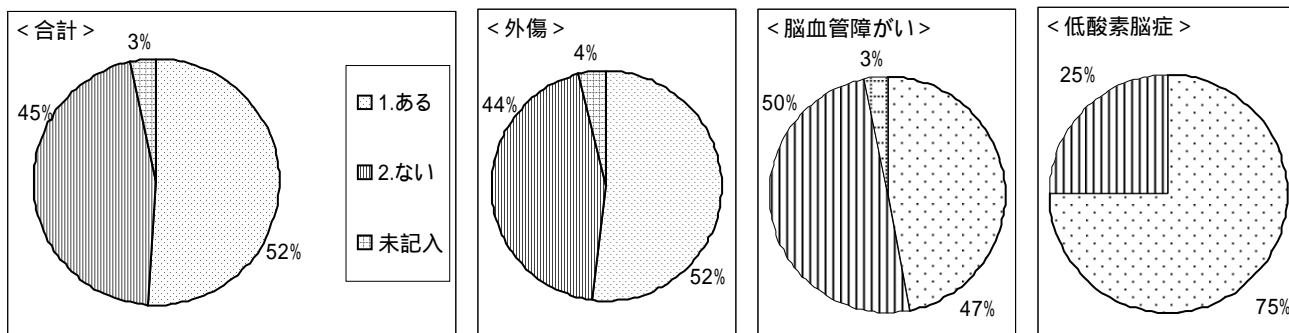
	9.主治医	10.看護師	11.理学療法士・作業療法士・言語聴覚士	12.ソーシャルワーカー	13.ヘルパー	14.その他	合計
外傷	8	3	12	4	1	0	55
脳血管障がい	5	1	5	2	1	1	44
低酸素脳症	0	0	1	0	1	0	3
合計	13	4	18	6	3	1	102



問 7 - 2 相談機関を利用されたことはありますか。

相談機関を利用したことがある 45 人 (52%)、利用したことがない 40 人 (45%) と約半数の人が相談機関を利用したことがない。

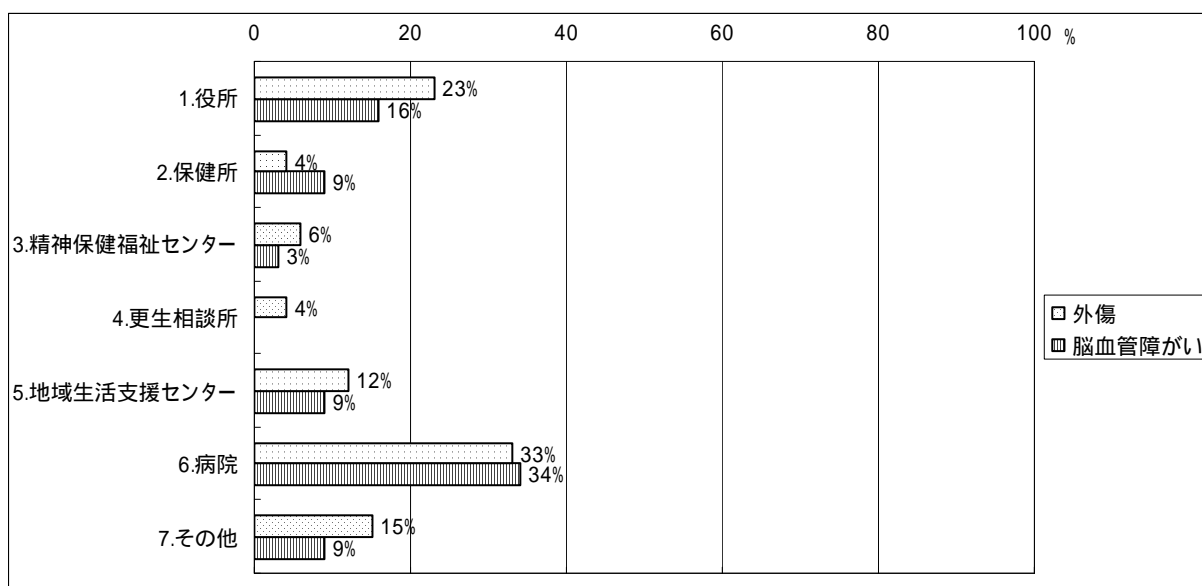
	1.ある	2.ない	未記入	合計
外傷	27	23	2	52
脳血管障がい	15	16	1	32
低酸素脳症	3	1	0	4
合計	45	40	3	88



問 7 - 3 あると答えた方へ それほどのようなところですか。(複数回答)

「病院」への相談が 30 件と最も高く、次いで「役所」への相談が 17 件であった。

	1.役所	2.保健所	3.精神保健福祉センター	4.更生相談所	5.地域生活支援センター	6.病院	7.その他	合計
外傷	12	2	3	2	6	17	8	50
脳血管障がい	5	3	1	0	3	11	3	26
低酸素脳症	0	2	0	0	1	2	1	6
合計	17	7	4	2	10	30	12	82

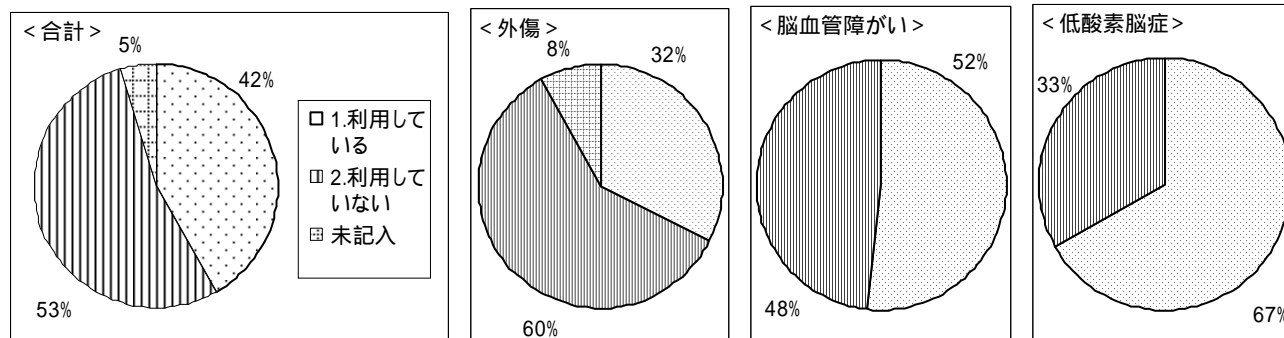


問 8 福祉サービス等の利用状況について。

問 8 - 1 現在、福祉等のサービスを利用されていますか。

全体の 35 人 (53%) の人が福祉サービスなどを利用していない。その内、利用していない人が「外傷」では 22 人 (63%) を占める。いろいろなサービス利用についての啓発が必要と思われた。

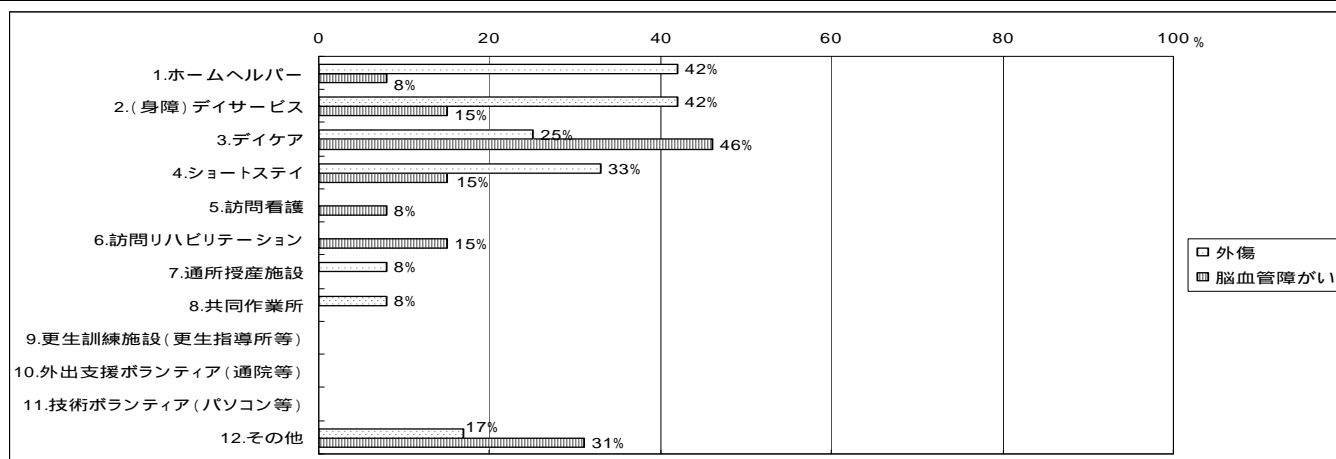
	1.利用している	2.利用していない	未記入	合計
外傷	12	22	3	37
脳血管障がい	13	12	0	25
低酸素脳症	2	1	0	3
合計	27	35	3	65



問 8 - 2 利用している方にお尋ねします、どのサービスを利用されていますか。

「ホームヘルパー」、「(身障)デイサービス」、「デイケア」、「ショートステイ」の利用が 32 人を占める。「通所授産施設」、「更生訓練施設」などの利用は 2 人と少ない。

	1.ホームヘルパー	2.(身障)デイサービス	3.デイケア	4.ショートステイ	5.訪問看護	6.訪問リハビリテーション	7.通所授産施設	8.共同作業所	9.更生訓練施設 (更生指導所等)	10.外出支援ボランティア (通院等)	11.技術ボランティア (パソコン等)	12. その他	合計
外傷	5	5	3	4	0	0	1	1	0	0	0	2	21
脳血管障がい	1	2	6	2	1	2	0	0	0	0	0	4	18
低酸素脳症	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	7	8	10	7	2	2	1	1	0	0	0	6	44



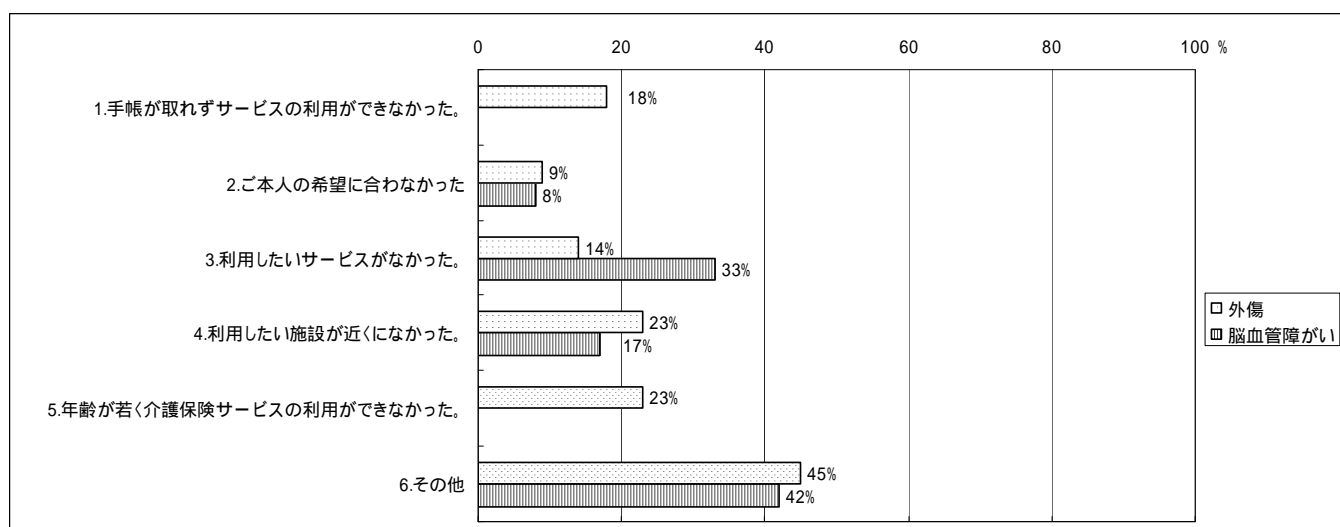
問 8 - 3 問 8 - 1 で「利用していない」と回答された方へお尋ねします。

理由を教えてください。(複数回答)

「利用したいサービスや施設がない」といった回答が 14 人を占める。「外傷」では「手帳が取れずサービスの利用できなかった」人が 29 人中 4 人を占める。

(障がい者自立支援法が施行されたため、現在では手帳がなくてもサービスが受けられます。)

	1.手帳が取れずサービスの利用ができなかった。	2.ご本人の希望に合わなかった	3.利用したいサービスがなかった。	4.利用したい施設が近くなかった。	5.年齢が若く介護保険サービスの利用ができなかった。	6.その他	合計
外傷	4	2	3	5	5	10	29
脳血管障がい	0	1	4	2	0	5	12
低酸素脳症	1	0	0	0	0	0	1
合計	5	3	7	7	5	15	42



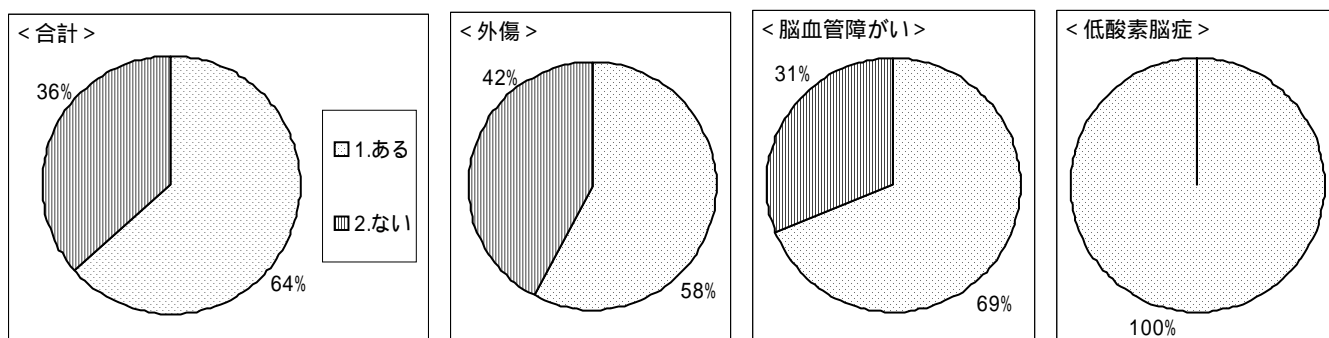
問 8 - 4 問 8 - 3 で「利用したいサービスがなかった。」と回答された方へお尋ねします。どのようなサービスがあったら良いと思われますか。(別紙参照)

問9 収入について

問9-1 ご本人に収入はありますか。

全体で32人(36%)の人が収入がない。特に「外傷」では22人(42%)と収入のない人が多い。反面、「脳血管障がい」では収入のある人が22人(69%)と多い。

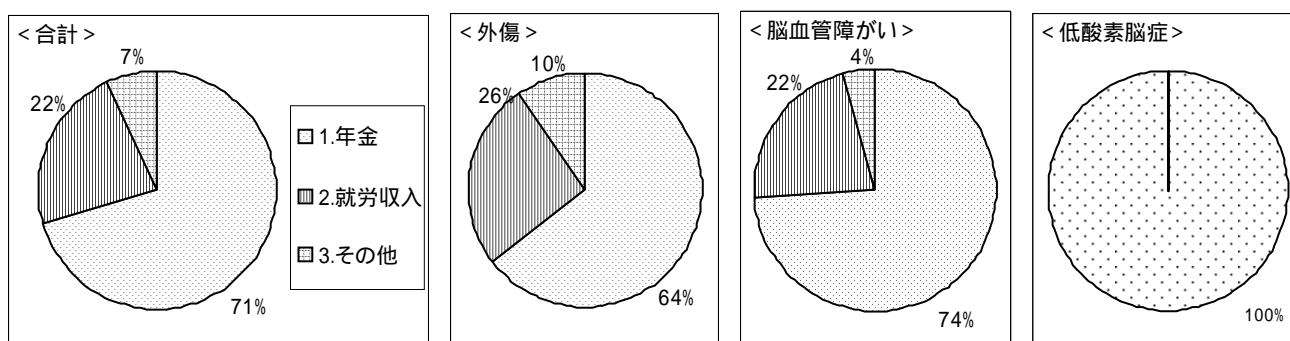
	1.ある	2.ない	合計
外傷	30	22	52
脳血管障がい	22	10	32
低酸素脳症	4	0	4
合計	56	32	88



問9-2 どのような収入ですか。

収入は年金が全体の41人(71%)を占め、高い反面、就労収入は13人(22%)と低い。

	1.年金	2.就労収入	3.その他	合計
外傷	20	8	3	31
脳血管障がい	17	5	1	23
低酸素脳症	4	0	0	4
合計	41	13	4	58

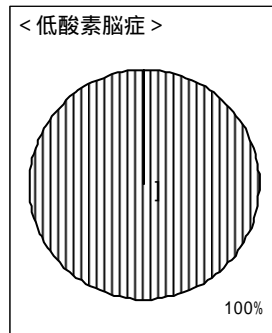
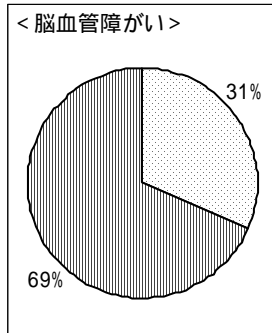
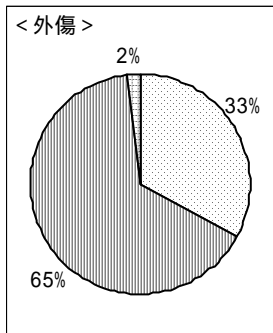
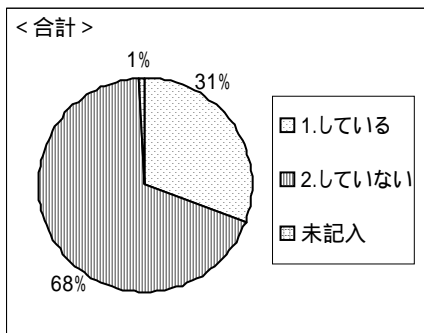


問 10 就労について。

問 10 - 1 ご本人は就労または就学していますか。(休職、休学中を含む)

全体の 60 人(68%)の人が就労・就学をしていない。その内、「外傷」が 34 人(57%)を占める。

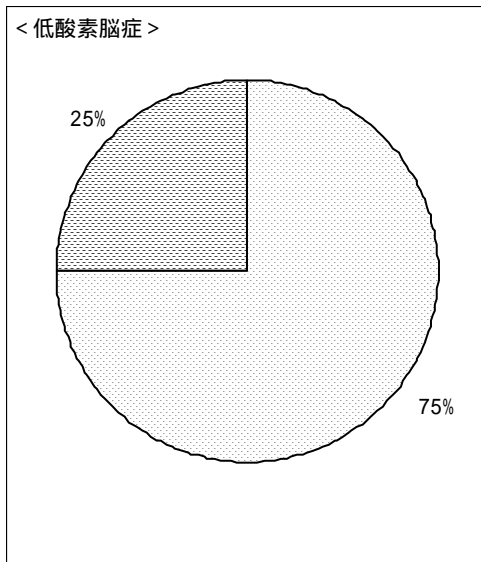
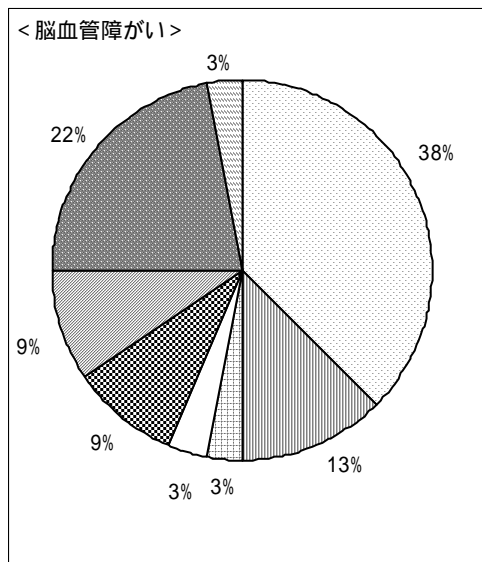
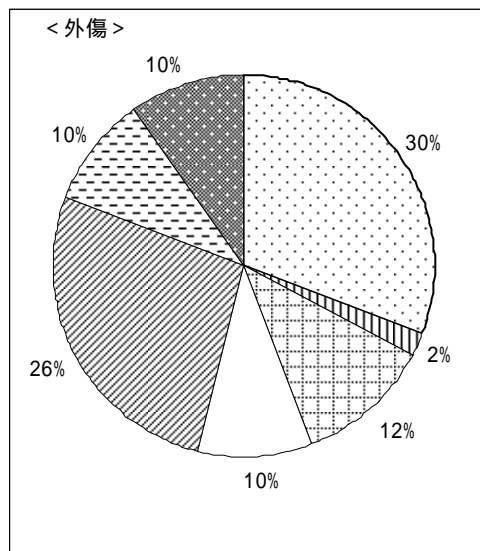
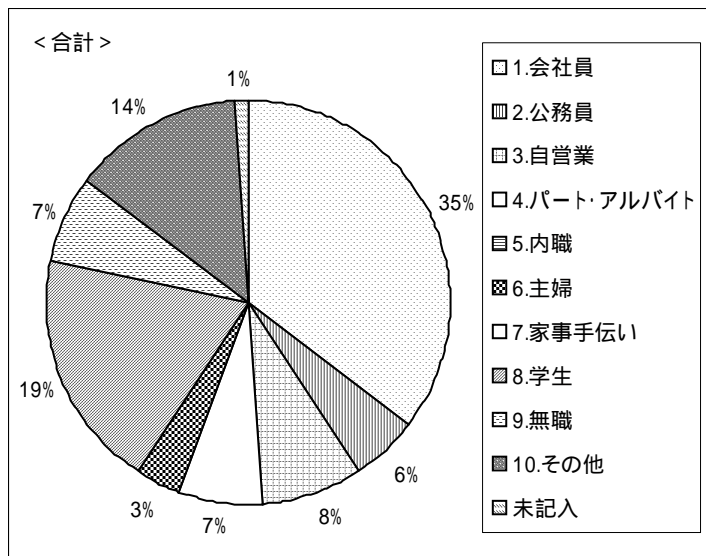
	1.している	2.していない	未記入	合計
外傷	17	34	1	52
脳血管障がい	10	22	0	32
低酸素脳症	0	4	0	4
合計	27	60	1	88



問 10 - 2 受傷・発症時の職業等は何でしたか。

「外傷」では 52 人中、学生が 14 人（26％）を占める。

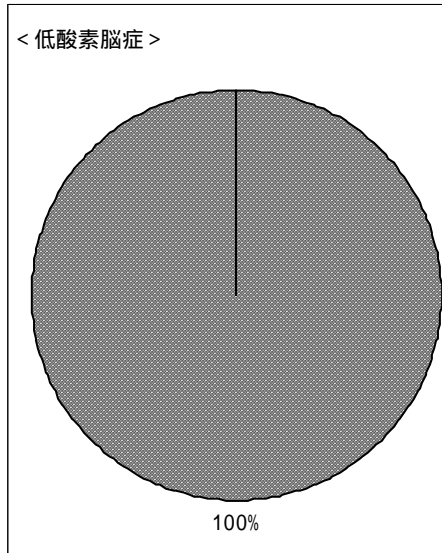
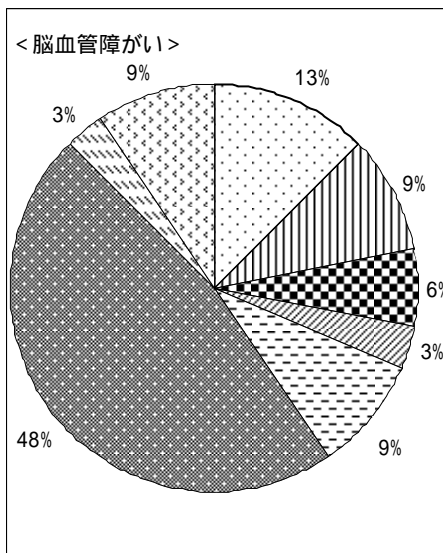
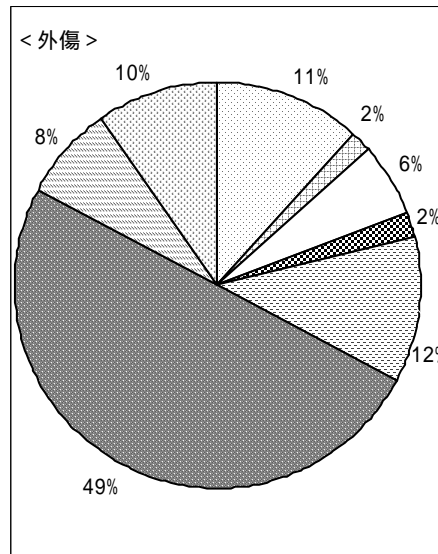
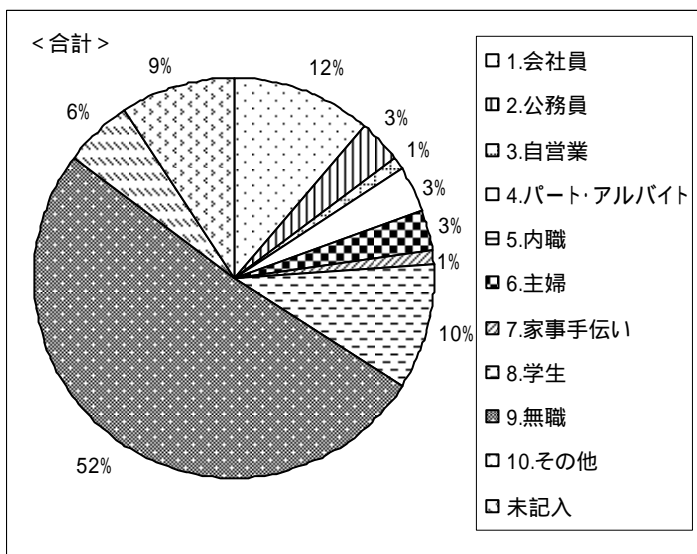
	1 会社員	2. 公務員	3 自営業	4.パート・ アルバイト	5. 内職	6. 主婦	7.家事 手伝い	8. 学生	9. 無職	10. その他	未記入	合計
外傷	16	1	6	5	0	0	0	14	5	5	0	52
脳血管障がい	12	4	1	1	0	3	0	3	0	7	1	32
低酸素脳症	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4
合計	30	5	7	6	0	3	0	17	6	12	1	88



問 10 - 3 現在の職業等は何ですか。(休職・休学中を含む)

全体では、45人(52%)が無職だった。

	1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業	4.パート・ アルバイト	5. 内職	6. 主婦	7.家事手 伝い	8. 学生	9. 無職	10. その他	未記入	合計
外傷	6	0	1	3	0	1	0	6	26	4	5	52
脳血管障がい	4	3	0	0	0	2	1	3	15	1	3	31
低酸素脳症	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
合計	10	3	1	3	0	3	1	9	45	5	8	88



問 11 現在、ご家族（及びご本人）が日常生活でお困りのこと

問 11 - 1 障がいの症状

ほぼ全ての方が複数の症状を訴えており、症状も多様であるため特定の傾向は無かった。

- (1) 約束の時間を忘れてたり、持ってくる物、やってくることをすぐに忘れてしまう。
- (2) スケジュールや約束など、いったん覚えたこと(時間や場所)の変更が難しい。
- (3) 新しいことを覚えることが難しい。
- (4) 失敗したことの自覚が乏しく、同じ失敗を繰り返す。
- (5) 病前(受傷前)に、よく出かけていた所にひとりで行けない(迷ってしまう)。
- (6) 何か作業をしていると、他のことに気づかない。
- (7) いろいろなことを一度にやろうとすると混乱し、イライラしたり投げ出したりする。
- (8) 片側の物(人)にぶつかったり、片側の物(人)に気づかなかったりする。
- (9) 行動が緩慢であり、手の動きがスムーズでない。
- (10)漢字や計算、文章を読んだり書いたりすることが難しくなった。
- (11)失語のために、伝えたい言葉がうまく出ず、本人の意思をスムーズに理解できない。
- (12)失語のために、会話等の理解が難しく、こちらの「考え」がなかなか本人に伝わらない。
- (13)コミュニケーション障がいのため、手続き等説明を要す外出には同伴がいる。
- (14)相手の事情を考えずに、自分の興味関心のあることを話し続ける。
- (15)菓子やたばこなどを、むやみに買い込んで際限なく食べて(吸って)しまう。
- (16)手持ちのお金を直ぐに使ってしまう。
- (17)場所や相手を考えないでふざけたり、目上の人に対して変に馴れ馴れしい態度をとる。
- (18)ささいなことにこだわる。
- (19)ちょっとしたことでカーッとなりひどく怒り、暴言、時に暴力をふるったりする。
- (20)母親にべったり甘えるようになり、相手をしてもらいたがる。
- (21)異性に対して、性的な話しをしたりなど興味が抑えられない。
- (22)出来そうもないことを出来ると言い張り、出来そうなことには目を向けようとしない。
- (23)一人よがりの理解を持ちやすい。
- (24)いったん思い込むとなかなか修正が困難。
- (25)家族やまわりの事は批判するが自分のことはわからない。

問11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	合計
外傷	31	21	30	25	17	23	20	12	27	32	19	12	28	18	10	13	8	24	23	6	2	15	18	29	20	483
脳血管障がい	14	12	16	15	11	12	15	10	20	15	13	11	11	13	3	4	4	7	6	5	2	21	12	13	9	274
低酸素脳症	2	0	2	1	1	2	2	0	2	2	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0	23
合計	47	33	48	41	29	37	37	22	49	49	33	24	40	31	13	17	12	32	30	12	4	37	31	43	29	780

